## 海外進出ステップアッププログラム「セミナーC実施レポート」

10月14日に第3回目となるセミナーC「バイブルからピッチを作りこむ方法を知る」をオンラインにて開催いたしました。Antony氏からは、ピッチ資料の効果的な見せ方や話し方、伝え方を解説いただき、風早氏からは、どのような場面で誰にピッチするかによってピッチの内容が変わることを解説いただきました。両講義併せて、ピッチの作成から実施まで、非常に実践的な指導をいただきました。

## セミナーC「バイブルからピッチを作りこむ方法を知る」 講演内容ご紹介

## Creative Director, Sprinkles on Top Antony Gusscott €

- 本セミナーでは、作品のコンセプトの作り方、資料の作成、ピッチの作成の3つ の柱についてそれぞれ実務的な目線でポイントを解説いただきました。
- 作品のコンセプトの作り方では、コンセプトをストーリー、スタイル、ターゲットの 3つの要素に分解し、それぞれの考え方、価値の生み出し方についてをお話 いただきました。
- 生み出した価値を伝える資料にはライターバイブル、ショーバイブル、ピッチ、チョシ、ワンペーパー等があり、それぞれについてどのように作成すると効果的かを説明いただきました。特に、ピッチの時間とピッチ資料の枚数の関係や、レイアウトの方法、ピッチでの話し方等について、Antony氏の実際のピッチ資料やピッチの動画も使いながら解説いただいたため、初めてバイブル資料やピッチ資料を作る方だけでなく、既にピッチの経験がある方にとっても非常に役立つ実践的な内容を教えていただきました。



Antony氏によるセミナーの様子

## ゲイダ合同会社 プロデューサー / カルチャーコネクト代表 風早 完次氏

- 本セミナーでは、Antony氏の実践的なレクチャーを踏まえて、改めてピッチ の作成について、一般的な視点や商慣習等も含めて要点をまとめていただ きました。
- ピッチについては、「自身の作品が次のステップに進めるように、バイブルで整理した情報を、相手が聞きたい形で伝える」という点が重要なポイントになる、という視点をもとに、ピッチの場面やピッチの相手を想定した考え方について解説いただきました。
- ピッチの種類は、ピッチイベントやピッチ商談があり、場面ごとにピッチする目的が異なるため、どのような点に留意して作品を紹介することでビジネスにつなげるかという視点でそれぞれの違いについて説明いただきました。また、ピッチの相手については、企画のステータスに応じて変化する商談すべき担当部署の違いも踏まえ、準備にあたって何を検討すべきかという観点や、ピッチで伝えないといけない要素の考え方について説明いただきました。



風早氏によるセミナーの様子